

『News Letter 新名神 (高槻～神戸) Vol.6』発行にあたって

新年、明けましておめでとうございます。2010年がスタートいたしました。今年も引き続き新名神高速道路高槻～神戸間の一日も早い開通に向け一層の努力をいたしますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年末12月12日大安吉日の日、新名神(高槻～神戸)の起工式を執り行いました。起工式には、井戸敏三 兵庫県知事、小河保之 大阪府副知事、安部正一 関西経済連合会広域基盤整備委員長、沿線選出の国会議員、沿線の市長、町長そして地元自治会長等関係の皆様のご出席を賜ることができ、平成28年度の前倒し開通に向け、関係機関一丸となって事業を推進していくことの決意を確認いたしました。現場を担当する事務所の長として、皆様の日本の国土軸「新名神」整備への熱い思いを痛切に感じると同時に、改めて早期開通に向け気を引き締め直し、事業を推進していく所存であります。

今年、平成28年度開通を目指すうえで、まぎれもなく極めて重要な年になります。特に用地取得の進捗向上が最大のキートンとなります。平成22年度には地権者の皆様のご理解を得て、用地取得の概成を達成できるよう委託先である兵庫県及び神戸市土地開発公社とともに、一層の努力を図ってまいります。

また、昨年より取り組みを開始した「管理に根ざした道路づくり」において、安全・安心で、快適、そしてライフサイクルコストが低減できる新名神の具現化や、環境に配慮し自然に優しい新名神を推進するための「しんめちゃんプロジェクト」についてもその活動を本格的に開始してまいります。一方、下のグラフに示したように新名神事業がまだまだ地域の一般の皆さんへ十分浸透していないという実態も明らかになりました。これを踏まえてさらなる事業広報や地域への貢献を主とするCSR活動についても一層、力を入れて取り組んでまいります。

今年も事務所一丸となってがんばってまいります。皆様の一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



NEXCO 西日本 兵庫工事事務所 所長 小笹 浩司

【川西まつり】

平成21年11月8日(日)に行われました、川西市商工会主催の『第3回川西まつり』に出展しました。

当日は天候に恵まれ、朝10時からの開催でしたが、朝の時点で暑いくらいの天候でした。また、非常に活気のあるお祭りで予想人数をはるかに上回る方々のお立ち寄り。誠にありがとうございました。

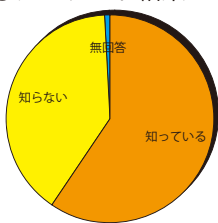
今回の出展コンセプトは『新名神建設事業のPR』と『NEXCO(弊社)の認知度チェック』の2つ。PRについては現在工事を行っている新名神高速道路の模型の展示、パネルでの事業説明を行いました。また新名神建設事業のアンケートを実施し、多くの方々アンケートにご回答頂きました。

併せて、高速道路を巡回、作業しているパトロールカー(NEXCOでは黄パトと呼んでいます。)及び高所作業車に実際に乗っていただく体験コーナーを設けました。

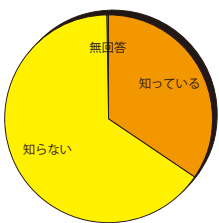
今回の出展で、多くの方々へ高速道路事業というものを少しでも知っていただけたらと思います。



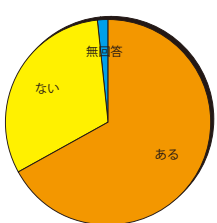
○アンケート結果(約500の方にご協力いただきました)



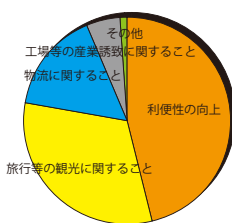
問1. 新名神建設についてご存知ですか



問2. 川西市内にインターチェンジが出来ることをご存知ですか



問3. 新名神高速道路に期待されることはありますか



問4. 新名神高速道路に期待することは

☆アンケート結果から「新名神事業」への認知度が低いことがわかりました。今後、このことを真摯に受け、更なる事業PRを行い、皆様へ認知していただけるよう努めてまいります。

シリーズ 新名神キーマンインタビュー(第6回)

～兵庫県土地開発公社 阪神事務所 田中 千之 所長を訪ねました～



Q1. NEXCOとしては高速道路の用地取得をお願いしていますが、公社(県全体)さんのその他の事業概要を紹介してください。

A1. 土地開発公社といえば、河川や道路、学校、公園といった公共用地の用地買収というイメージを思い浮かべられる方が多いと思いますが、そのほかに工業団地や住宅団地の造成事業を施行することができます。これまで両団地合わせて兵庫県内の10数カ所で実績を上げています。現在、住宅団地造成事業は実施していませんが、工業団地造成事業については、加西市において「加西南産業団地」と「加西東産業団地」で企業誘致活動を行っているところです。この場で営業活動をするつもりはありませんが、工場用地や物流拠点用地を探しておられる企業さんをご存じでしたら、是非ご紹介ください(笑)。

Q2. 21年度は用地取得概成に向けスタートしましたが、現状としては厳しい状況にあるかと思えます。早期用地取得に向け、現状を踏まえて主な問題点やその課題への対応方針及び抱負をお聞かせ願えますか。

A2. 今年度は用地取得を概成させることを目標としてスタートしましたが、その達成が厳しい状況にあることは間違いありません。その要因を考えてみますと、事業対象面積10,000㎡以上の関係者15件が全体面積の約50%を占めており、今年度はその大部分が様々な問題のため解決に至っていないからであります。今後も説明責任を十分に果たし粘り強く交渉を積み重ね、出来る限り早い時期での解決を目指したいと考えています。なお、当初危惧しておりました猪名川町域の家屋移転者との交渉については、NEXCOさんや猪名川町さんのご協力・ご尽力により、想った以上の解決をみる事ができました。この場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。

Q3. 普段はよく高速道路を使われますか? 弊社としては、高速道路の安全・安心の追求やSA、PAのサービスの向上に努めているところですが、何か高速道路に対して要望がございませうか。

A3. 残念ながら、あまり使っていません。休日料金が1,000円と大幅に安くなっておりまして、これから機会があればどんどん利用したいとは思っていますが……。これは高速道路のユーザーへのお願いも含んでいるかもしれませんが、サービスエリアの飲食スペースやトイレなどはみんなが気持ちよく使えるよう、いつも清潔感溢れる空間であって欲しいと思います。



兵庫県土地開発公社 阪神事務所 田中所長以下職員の皆さん

Q4. 条件が整うことを前提として、平成28年度供用を目標にこれまで以上に連携を深め、ご協力を頂きながら事業を進めていかなければならないのですが、弊社に対する何か要望などございませうか。また、今後新名神事業を円滑に進める上で、公社さんの役割としてどのようなことをお考えでしょうか?

A4. おっしゃるとおり、連携を密にすることはとても大事なことです。そのためにも、引き続きNEXCOさんには事業主体としての立場から、関係者に対する総合調整的な役割をしっかり担って頂きたいと思えます。一方、当公社は、新名神高速道路事業にかかる用地取得の受託者として、NEXCOさんや兵庫県さんのみならず、川西市さん、猪名川町さん、宝塚市さん、それから地元関係者の方々の信頼を得つつ、供用開始に支障を来すことなく、これからも肅々と与えられた役割を果たしていくこと、つまり事業に必要な用地の買収を着実に進めていくのみだと考えています。



【写真】左: 田中所長 右: インタビュアー NEXCO兵庫(工)三枝

【新名神高速道路 沿線紹介 ～鎌倉峡・百丈岩～】

本号より時々、新名神高速道路沿線の紹介をします。第1回目は、神戸市北区道場町にあります『鎌倉峡・百丈岩』の紹介です。

2009年11月に訪れました。その頃は紅葉がみごとで、百丈岩をバックに写真をパシャ。思い出となる一枚となりました。ご存知の方もいるかと思いますが、百丈岩には登ることが出来るようです。ロッククライミングの練習場にもなっているとのこと。もちろん歩いてでも登れますよ。今回は時間の都合上登ることは断念しましたが、いつかは百丈岩の頂上まで登ってみたいものです。その時はもう一度紹介させていただき、頂上からの写真を掲載させていただきます。

～鎌倉峡・百丈岩の説明～

鎌倉峡: 金仙寺湖から流れる船坂川が武庫川と合流する中間にあり、小さなゴルジュ(峡谷)の連続する美しい渓谷。鎌倉時代、執権を引退して諸国巡礼をしていた北条時頼がしばらく滞在したといわれる。

百丈岩: 「高さ数十丈、岩上には百畳を敷けるより名とす」と江戸時代の『摂津名所図会』に述べられている。室町時代より、有馬温泉を訪れた文人や高僧たちは、競ってこの地を訪れて、奇勝景観の美を絶賛した詩歌や紀行文をもつことを風流とした。



百丈岩